

## ★ヘルシーマラソン・全校ボランティア★

2026年6月14日に行われた「丘の町びえいヘルシーマラソン」のボランティアに参加しました。3800人の選手がエントリーし、最高気温26℃の中行われた今大会、雄大な十勝岳と、きれいな街の風景を背景に走ることが魅力で、町外からもたくさんの方々が参加していました。



増田明美さんとの集合写真

道内はもちろん遠くは沖縄、そして海外の方まで全国各地から参加者が集まり、小・中学生からご年輩の方までの幅広い世代の方々が参加していました。出場者の中には、コスプレや着ぐるみ等の様々な服装で走っている選手もいました。

また、ヘルシーマラソンといえばこの人、増田明美さんが今年も参加者とマラソン前の体操をしたり、一緒に走ったりしました。

楽しそうに走る参加者の笑顔が印象的でした。来年の大会も楽しみです。

私たち美瑛高校の生徒は5つの係に分かれ、裏方として大会運営のお手伝いをしました。

荷物係は、選手たちの荷物を管理。第一、第二、第三給水所係は、選手たちへの応援とドリンクの提供。決勝係は完走した選手の誘導と参加賞などの受け渡しを行いました。



### 生徒の声

1年生にとっては初めてのヘルシーマラソン。暑い中でしたが、地域の方々と協力して頑張りました！



学校の行事や日常の様子は、ホームページや公式noteでも発信しています。右記QRもしくはアドレスからアクセスし、少人数ながら活気あふれる生徒の様子をご覧ください。

HP <https://www.biei.hokkaido-c.ed.jp> note <https://biei-hs.note.jp/>



## ★総合的な探究の時間・地域巡検★

5月25日にわたしたち1年生は、写真家の中西敏貴さんを講師にお迎えして、探究活動の地域巡検で青い池、本山農場、セブンスターの木に行ってきました。

はじめに講師の中西先生から授業を受けました。美瑛町の美しい景色は人の手が入った営みの美しさで、それを守る必要があると気付かされました。

青い池では観光客に英語で話しかけるという課題が課せられ、それぞれが翻訳アプリを駆使して積極的に話しかけました。

本山農場では社長さんのお話を聞いて、観光客と現地の人たちとの関わり方について考えました。

最後に訪れたセブンスターの木では、ブラウマンの空庭の皆さんが立てた看板と白樺並木の跡を見学して、オーバーツーリズム問題について改めて考えました。

### 地域の課題を知る



### 教員インタビュー



#### 廣瀬 篤 (国語・1年担)

- Q.最近ちょっと悲しかったことは？  
A.冷蔵庫に入れてあったお高めのプリンをいつのまにか息子が食べちゃっていた  
Q.最近幸せを感じたことは？  
A.なにもしていないのに4キロ痩せた  
Q.今までで体験した一番怖いことは？  
A.自分みたいのが高校の先生をしていること



#### 鶴舎 充 (地歴公民・1年副)

- Q.最近ちょっと悲しかったことは？  
A.車検のあと車の整備で8万かった  
Q.最近幸せを感じたことは？  
A.体重が少し減った！  
Q.今までで体験した一番怖いことは？  
A.8月の夜、寝ていると綺麗で髪の毛の長い女性が上に乗ってた。2年間。びびった。多分お化け